



発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774(代)
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税込送料込)



広報、事業、技術の六部
 門の担当理事(部長)を
 中心に議論を重ねて原案
 を作成。藤川会長の強い
 意向を反映して藤川ビジ
 ヨンとも位置づけられて
 いる。
 内容は全管連の現状・
 課題、全管連活動の基
 本、重点的に取り組むべ
 き事業・方策、全管連の
 体制の見直し・強化など
 を骨子としている。この
 うち重点事業には①技術
 ・技能を磨く②管工事業
 者・組合の仕事量確保と
 事業領域の拡大をめざす
 ③管工事業界の社会的認
 知度を向上させる④若者
 ・女性の入職・定着と高
 齢従業員の活躍を促進す
 る⑤休日確保・給与など
 の処遇改善を進める⑥災
 害時など緊急時の即応態
 勢を強化する―などを
 盛り込んだ。
 理事会終了後、藤川会
 長、原宣幸総務担当副会
 長、岩野隆一総務部長、
 粕谷明博専務理事、松本
 淳司常務理事、上田忠幸
 事務局長らによる記者会
 見が開かれた。藤川会長
 は全管連ビジョンについ
 て「管工事業の範囲は広
 く全管連会員企業の業態
 もさまざまだが、それぞ
 れの分野で各企業が適正
 利潤や若者などの人材を
 確保し、将来につなげて
 いくことが大切だ。その
 ために業界の現状や課題
 を明らかにし、これからの
 持続的発展の道筋を提
 示することにした」と述
 べ、新ビジョンの着実な
 実現へ意欲を示した。
 重点事業の具体的な取
 り組みについては六部門
 で同時並行的に内容を話
 め、関係各方面への要望
 などをまとめる方針だ。

全管連ビジョン作成

管工事業界の持続的発展へ邁進

全国管工事業協同組合連合会(藤川幸造会長)は十月十六日、東京・港区の品川プリンスホテルで第三百四十三回理事会を開き、新たに作成した「これからの管工事業界のために―全管連ビジョン2020」を正式に承認した。管工事業界の持続的発展へ会員一丸となって邁進するため、今後五年程度の方向性を明示した。全管連が組織的な将来展望を打ち出したのは今回が初めてで適正利潤や有能な人材の確保、事業領域の拡大などに重点的に取り組んでいく。

適正利潤確保・事業領域拡大

当日の理事会では①加
 入申込みの審査②技術参
 与の委嘱③支部長・常設
 委員の補充選任④全管連
 ビジョンの作成―の四
 議案について審議し、い
 ずれも原案どおり承認。一
 て「地震等緊急対応の手
 引」の改訂に関する講
 演会を行った。
 全管連ビジョンについ
 ては総務、経理、経営、

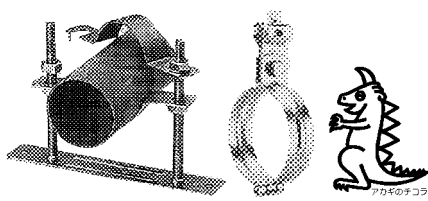


藤川会長



品川プリンスホテルで記者会見

配管支持金具



株式会社 アカネ

配管支持金具の
 株式会社 アカネ
 本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表)
 営業本部 ☎03-3552-7091(代 表)
 本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

熟練技能の効率的な伝承へ

インフラ分野 DX推進本部 デジタル化で人材育成

国土交通省は十月十九日、東京・霞が関の中央合同庁舎三号館特別会議室で第二回「インフラ分野のDX推進本部」(本部長・山田邦博技監)を開き、インフラ分野DX施策の概要をまとめた。経験が浅くても建設現場で活躍できる人材を育成
 するため、熟練技能のデジタル化による効率的な伝承を実現する。
 DX(デジタルトランスフォーメーション)はITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという
 概念で二〇〇四年にスウェーデン・ウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱したといわれている。同省では新型コロナウイルスを契機とした非接触・リモート型の働き方への転換や安全



国土省幹部が集い意見交換

性の向上などを促進するため、データとデジタル技術を活用したインフラ分野のDXを全管連横断的に推進している。
 当日の会合では山田本部長が冒頭あいさつに立ち「デジタル化の利便性を実感できる社会が期待されており、スピード感をもって強力に推進していく。労働環境や暮らしの安全性を高めるシステムを速やかに実装していくことがわれわれの使命だ」と述べ、活発な意見交換を促した。
 インフラ分野DX施策では行政手続きの迅速化やサービス・生産性の向上、安全で快適な労働環境の整備、検査・点検・管理の高度化、パワーアシストシステムによる危険・苦役作業の減少などをめざす。とくに熟練技能についてはモーションセンサーなどを活用して見える化し、効率的な人材育成手法を構築する。

高効率を追求するテラル

テラルの新コンセプト「Triple e」による

キャビネット型加圧給水ポンプユニット

推定末端圧力一定
 給水ポンプユニット

CXV型



27% 省スペース

27% ダウン (当社比)

静音

省電力

優れた施工性

● 屋外設置可能 ● 充実の標準装備 ● 低振動 ● 安心・安全機能

テラル株式会社
 www.teral.net

本社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
 東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など
 全国9支店、
 47営業所